

現地における活動と保健ニーズについて(三重災害支援研究会第1回シンポジウム 紀南地域における台風被害に関する報告 第2報)

著者	西出 りつ子
雑誌名	三重看護学誌
巻	14
号	1
ページ	151-153
発行年	2012-03-15
URL	http://hdl.handle.net/10076/11949

三重災害支援研究会 第1回シンポジウム
「紀南地域における台風被害に関する報告」

現地における活動と 保健ニーズについて

2011.11.11

西出りつ子
三重大学医学部看護学科
地域・老年看護学講座

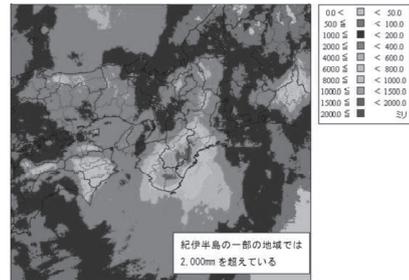
2011年9月 台風12号

- 8月25日 マリアナ諸島付近で発生→北上
- 8月27日～30日 小笠原諸島近海に停滞
(大型の強い台風となる)
- 8月31日(水)～9月2日(金) ゆっくりと西寄りに北上
- 9月3日(土)10時頃 高知県東部に上陸 →北上
- 9月3日(土)18時頃 岡山県南部に再上陸→北上
- 9月4日(日)15時頃 日本海に抜ける
- 9月5日(月) 温帯低気圧に変わる
- 9月7日(水) 温帯低気圧(台風13号)に吸収される

台風12号の特徴

- 大型の台風だった
 - 動きが極めて遅かった
 - 長時間湿った空気が流れ込んだ
- 広い範囲で大雨
(西日本～北日本)
- 予定進路から大きくずれた
(予定: 関東地方→東北太平洋側)
- 被害を
拡大させた
- ≪紀伊半島≫
- 総降水量: 広い範囲で1,000mmを超えた
 - 奈良県上北山村
 - 72時間雨量: 統計開始(1976年)以来の国内観測記録を大幅に上回る1,652.5mm、総降水量: 1,808.5mm
 - 一部の地域
 - 解析雨量が2,000mmを超える
 - 御浜町: 4日3:00 1時間雨量90mm
 - 大台が原: 4日累計雨量2433mm
- 記録的な大雨

解析雨量による総降水量分布図(推定) (8月30日17時～9月6日24時)



気象庁:「台風第12号による大雨(速報)」平成23年9月7日

熊野市 紀宝町 御浜町 台風12号による紀南地域の被害

- 川の増水・氾濫(特に熊野川、相野谷川、井戸川)
 - 地形の特性による被害拡大
 - 土石流・流木による被害拡大
 - 高潮
 - 土砂崩れ→交通遮断(JR、R42、各種県道)
 - 家屋の倒壊・浸水(深夜から早朝にかけて)
- 避難情報の伝達障害(雨の音で広報スピーカーの音が聞こえなかった)
 - 熊野保健福祉事務所の職員召集に時間がかかった
 - 危険物施設の浸水・水没・全壊
 - ハイオクガソリン・軽油・灯油・潤滑油・グリスが主要河川や周辺地域に流出
 - 台風15号による追い打ち(9月21日) など

全国の被害と紀南地域の被害状況

消防庁(平成23年10月5日15時現在)

- 死者
 - 全国73名(和歌山県50名、奈良県11名、三重県2名)
 - 原因: 家屋全壊・半壊の巻き込まれ、溺死
 - 御浜町: 1名死亡(堤防一部決壊による家屋半壊の巻き込まれ)
 - 紀宝町: 1名死亡(詳細確認中) (溺死) 9月20日付け
- 行方不明者
 - 全国19名(和歌山県5名、奈良県13名、三重県1名)
 - 原因: ほとんどが家屋流出による巻き込まれ
 - 紀宝町: 浅里地区において1名行方不明

その他 被害状況	負傷者 (人)		住居被害 (棟)		消防庁(平成23年10月5日15時現在)		
	重症	軽症	全壊	半壊	床上浸水	床下浸水	(箇所)
全国	27	77	179	595	8,626	19,197	481
岡山県	1	4	2	41	794	8,598	2
和歌山県	2	4	68	529	4,081	3,180	212
奈良県	3	1	47	10	87	24	43
三重県	5	10	59	12*	2,182	838	84



井戸川沿い(熊野市保健福祉センター前)



熊野川支流北山川(熊野市紀和町)

*半壊 299
(二)三重県災害対策本部
10月14日

現地における災害支援活動: 消防・警察機関

- 熊野市消防本部と被災地の消防団
避難誘導、救出救助活動・行方不明者捜索活動
- 三重県防災航空隊
孤立者の救助(7名、奈良県4名)、行方不明者捜索活動
- 県外の消防局へリ
 - ・京都市、大阪市:土砂災害支援(天候不良等により要請解除)
 - ・愛知県:緊急物資の搬送
 - ・兵庫県:緊急物資の搬送、被害調査等

- 紀宝町警察署・機動隊
 - ・約50名救助、浅里地区行方不明者の捜索
- 熊野警察署・機動隊
 - ・約60名救助

現地における災害支援活動: 自衛隊

要請日時	要請元	要請先	要請の概要	撤収要請日時
9月3日(土) 23時39分	和歌山県知事	陸上自衛隊 第37普通科連隊長(信太山)	孤立者の救助 行方不明者捜索	9月29日(木) 08時30分
9月4日 04時00分	三重県知事	陸上自衛隊 第33普通科連隊長(久居)	人命の救助	9月14日(水) 10時45分
9月4日(日) 04時20分	奈良県知事	陸上自衛隊 第4施設団長(大久保)	人命の救助	10月14日(金) 09時30分

≪三重県≫

- 9月4日4:05 連絡員2名(車両1両)紀宝町役場に向け出発
- 第10師団の第33普通科連隊等
第33普通科連隊(久居)、第10施設大隊・第10偵察隊(春日井)
第10飛行隊・教育支援飛行隊・第5対戦車ヘリコプター隊(明野)
- 人命救助(108名)、救援物資輸送、給水支援(163t)、情報収集等

現地における災害支援活動: 三重県

- 健康福祉部(9月6・7日被害状況と保健福祉ニーズの調査→保健師派遣)
- 防災対策室、土木・道路担当部局・水質改善室 等

≪熊野保健福祉事務所≫三重県「災害時における派遣活動報告会」
における熊野保健所発表資料より

- 9月2日 管内の聞き取り
- 9月3日～ 支援の調整
- 9月11日～ 訪問支援等

派遣による支援のまとめ—熊野保健所
単独支援を除く (H23.10.12現在)

	延べ支援日数	訪問		面接者数	避難所巡回		健康相談	
		世帯	訪問世帯		延べ箇所数	相談延べ人数	延べ箇所数	相談者数
熊野市	17	859	484	572	43	101	—	—
紀宝町	21	960	479	578	60	186	31	166

現地における災害支援活動: 県内の市町

- 紀南地域の市町
- 紀北町・南伊勢町等、被災を経験した市町
- 紀南地域に近い市町
- 三重県内の市町

- 保健・福祉担当課
- 社会福祉協議会
- 土木・建築担当課
- 水道・生活環境担当課 など



現地における災害支援活動: その他

- 関西電力(中部電力の協力を得て)
- NTT西日本
- その他、生活関連・復旧関連の業者さん
- みえ災害ボランティア支援センター(三重県男女共同参画・NPO室)
- ボランティア

紀南地域の保健活動

紀南地域の保健師さんからお話を聞く機会を設けたいと思います

- 緊急対策期
 - 被災者の安全確保・救急対応
 - 避難所における被災状況・健康状態の把握
 - 自宅生活者の被災状況・健康状態の把握
 - 感染症・食中毒・事故の危険性
 - 支援者の調整・健康管理
 - 通常業務の調整(中止、延期、場所等の変更)
- 要支援者の把握と対応・避難所運営支援
 - 水害の消毒
 - 被災者への保健指導
- 復旧・復興期
 - 心のケア、生活再建支援、防災計画の見直し
 - 被災地活動のまとめと検証
 - 通常業務の再開
- 保健ニーズ
 - 被災状況により異なる
 - 時間の経過で変化する

保健師さんから教えてもらった「今回の被災、良かったこともある」

- 紀南病院と熊野病院が被災しなかった
- 早い段階から支援の申し出が相次いだ
- 地域のつながりが強い土地柄(まとまりがあった)
- 3市町は地域特性と住民性がよく似た地域
- 既存組織の存在(紀南健康長寿推進協議会、紀南地域母子保健医療推進協議会)
- 今後の地震と津波に備えた心の準備と体験ができた
- 職員同士、市町同士、住民との間で共有できたことが多い

《私からみえたもの》

- 互いに助け合い乗り越える姿、前向きな姿勢、落ち着きをもって働く姿
- Keyword: 普段からの「つながり」

11月9日現在(保健師さんから)

- 災害対策本部: 三重県、紀宝町、熊野県民センター
- 避難所開設: 紀宝町3か所(大里、高岡、鮎田)
 - 自宅に住めない住民
- 全面通行止め: 県下25か所のうち紀南地域内14か所
- 御浜町: 浸水被害を受けた高齢者のメンタル、生活全般の見直し・支援(自宅の改修・新築が進まない)
- 熊野市: 孤立地区の高齢者の認知症悪化、周囲の環境変化からの新たな事故の可能性
- 紀宝町: 避難所解除後の住民の状況把握の必要性(参考になる調査様式があれば教えて欲しい)

今回学んだことと私の思い

- 情報は自らとろうと動かなければ収集できない
- 普段からの「つながりの強さ」が非常時に生きる
- 「経験を将来につなげる努力」と「それらの統合」が必要
- 「次の世代を育てる」ことも不可欠
- 「動ける組織づくり」と「全体としての体制づくり」が重要
- 災害支援について教員や学生に関心をもってもらいたい
- みんなで学び、考え、行動する場を作りたい
- 災害への備えを何か形に残したい

↓

三重災害支援研究会設立へ

今後に向けて(三重災害支援研究会)

◆災害支援について
学ぼう!

◆災害支援について
考えよう!

◆災害支援について
行動しよう!

◆災害支援について
発信しよう!

(※詳しくは設立趣意書をお読みください)

《研究会の活動を確かな歩みとして残す》

- 災害発生、看護学科は大丈夫?
- 紀南地域への長期的支援、何ができる?
- 保健師活動の経験、次につなげるには?
- 「災害看護」の授業、地域とつながる形にできない?
- (災害支援マインドと具体的行動を発想する力の育成とともに)
- 被災地、三重県、県内他大学との連携体制、どう作る?

三重県の災害や災害支援に関する情報

- 防災みえ.jp(三重県HPより)
- 災害時保健師活動マニュアル(三重県)
 - 災害時の保健活動
 - 配慮を要する人々へのケア
 - 県保健福祉部の災害体制
 - 大規模災害で被災地に派遣する場合の保健師の派遣
 - 活動事例
 - 参考資料(トリアージ、医療救護所の設置例、県災害対策本部設置時の各県民局保健福祉部活動例、関係機関連絡先、血液透析設備整備状況、水害時の消毒法、災害時に発生する健康被害と看護ニーズ、記録・報告書等様式、健康支援のための関係資料)